

部門紹介 (2) 管理統括本部



私共、管理本部は、経理課・総務課・販売管理課の3課から構成されております。

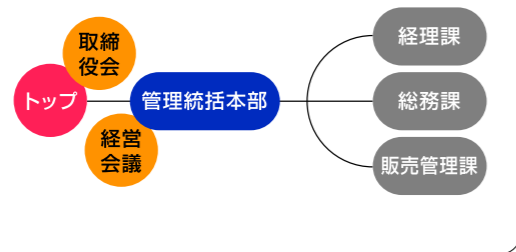
会社に対する役割としましては、経営者の補佐役として経営管理機能を果たす事にあります。

また、内部統制や社内間の円滑な調整にも意を砕き、業務を推進しております。

お客様との直接の関わりはあまりございませんが、「来客対応、電話対応は元気良く!」をモットーに日々心がけております。



管理統括本部組織図



NEWS

建築プロデュース機関が当社床下換気・攪拌セットを採用

当社製床下換気扇の効果と信頼性が認められ、建築プロデュース機関「FORZA」が床下換気・攪拌セットを床下環境改善ユニットとして標準装備することが決定しました。

「FORZA」とは、福岡を中心に活動されている建築プロデュース機関で、住む人が中心の「自分らしい家づくり」を目指して、建て主の立場にたち、依頼先を「建築家コンペ等」で探す事から竣工・お引き渡しまで、さまざまなサポートをする機関です。

(佐賀テレビとのタイアップで注目されています)
http://www.forzakyushu.com
フォルツァ株式会社



昭 和四十九年十月、青沼博二社長が、不況を乗り切るための大ナタを振るった。機構改革を伴った販売の強化策である。推進本部なるものを設置。販売推進員は各工場から集められ、全社で約四百人にのぼった。大石の営業への配転も、もちろんその環

大石はまず、関西地区の松下電機の営業所を回った。日曜日の夜行で九州を出発し、もどるのは週末というサイクルを繰り返した。五十人近い営業マンと接触し、九州松下で造れるモーターを売り込むのが狙いだった。こちらの顔と名前を覚えてもらわなくてはならないので、九州の銘菓を手土産に持っていた。誰もが考えつく「手土産戦略」である。けどすぐに効果がないと分かった。お菓子は営業所の女性にやり、営業マン

HISTORY OF S
西邦電機小史

第9回
「お土産 -1-」

の口に入る事は少なかったのだ。営業マンが自宅に持ち帰っていつまでも喜ばれる手土産はないものか、長崎工場の中を見回してみると、有明海に面した所から来ている人たちがたくさんいた。有明海は海苔の特産地でもある。その人達に頼めば、安く手に入れたくれるだろう。海苔は家庭的なもので、年中使える。「この海苔は重宝するわ。あなた、誰にいただいたのかしら」「うん、そうか。九州松下の大石さんだよ」そんな夫婦の会話があればしめたものだ。入れ物も紙箱ではなく木の化粧箱を奮発した。「大石でございます。これはひとつ奥様へ」と手渡した。手土産代は会社に請求してくれと上司は言ってくれたが、「どうなるものか分かりません。効果が出たとき、請求させてもらいます」と断った。

効果は一年後に出た。それまで全く出なかった大阪で、毎月コンスタントに六〇〇〇万円売れるようになった。そして二年後、常に一億以上を売り上げた。驚異的な売上である。ちなみに関東地区ではゼロ、中部でもかろうじて一〇〇万円台というありさまだった。

ごあいさつ

拝啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、今号では、かねてより開発を進めて参りました次世代型床下換気システムの基幹的役割をもつ「ハイブリッド・コントローラー」をご紹介します。この「ハイブリッド・コントローラー」の完成によって、次世代床下換気は新しい発想と概念によるハイブリッドシステム「タービン・ユニット」として生まれ変わります。「タービン・ユニット」の詳細につきましては次号で詳しくご紹介いたしますのでどうぞご期待ください。 敬具

平成17年4月
西邦電機株式会社 代表取締役 大石龍也



床下換気専用の「ハイブリッド・コントローラー」完成間近。 ～ 新しい発想、新しい概念へ～ **TURBINE UNIT**

西邦電機では2000年より次世代型床下換気システムの開発に着手し、すでに「タービン・ブLOWER」や「タービン・ウインド」また、拡散タイプの新しい商品を市場に投入して参りました。そしてその集大成となるシステムの基幹部、「ハイブリッド・コントローラー」の完成が間近となりました。(8月完成予定) このコントローラーにより、今まで出来なかった目的の異なった送風機を有機的につなぎ、本来あるべき動作を実現することが可能となります。独自のノウハウで理想的な湿度センサーとタイマーの複合運転をし、オプションとして本体故障センサー・漏水感知センサーのセットも可能です。

また、ハイブリッド・コントローラーの完成により、SEIHOの床下換気システムは新しい概念による新たなハイブリッドシステムとしてリニューアルされます。システム名は「タービン・ユニット」。(詳細は次号にて御紹介いたします) これまでの経験の中からでてきた課題をクリアした全く新しい考え方のシステムとして新たなビジネスモデルを構築し、ビジネスチャンスを広げてまいります。

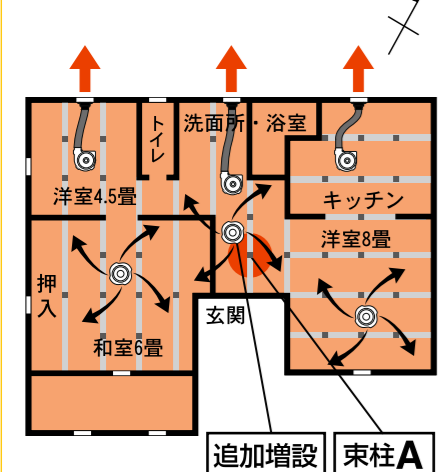


床下換気扇の効果。

築28年木造住宅の床下（布基礎）における床下換気システムの効果検証レポート。

DATA FILE「1」

●実験住宅床下レイアウト



- ブロー型換気システム/3台
- 攪拌型送風機/2台
- 追加設置
- オゾンナイザー付き攪拌型送風機/1台

H15年7月19日大雨による床下浸水などの被害が発生した。水が引いた後、土壌は湿気を多く含み、写真のように「東柱A」の東石と土壌に、白カビが発生。7月24日カビ対策の為「東柱A」近くに、オゾンナイザー付き攪拌型送風機を1台追加設置し運転を開始した。一週間後の7月31日、東石のカビが目視できなくなった。約四週間後、土壌に変化が表れはじめ、9月26日カビの繁殖は止まり、東石の周りの土壌も乾燥した。

カビ発生 H15年7月24日



追加設置



約四週間後・H15年9月18日



カビ減少 H15年9月26日



天井裏結露実験まとめ。

Vol.06で紹介していました、天井裏を想定した結露実験の結果をお知らせします。

DATA FILE「2」

天井裏1/5実験モデル内の鉄板を強制的に結露させ、自然換気（無風状態）及びハイブリッド・ブLOWER（弱運転）、ハイブリッド・ブLOWER（強運転）と同等の換気回数を行なった場合に、結露がとれるまでの時間を測定し比較する。

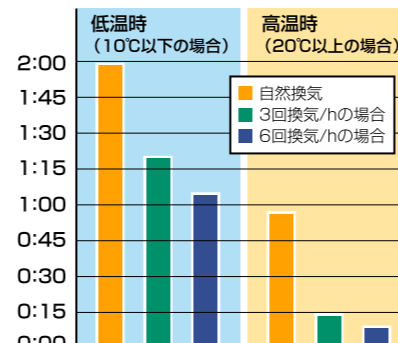


●天井裏1/5実験モデル

低温時（10℃以下の場合）			
	自然換気の場合	3回換気/hの場合 ハイブリッド・ブLOWER（弱運転）と同等	6回換気/hの場合 ハイブリッド・ブLOWER（強運転）と同等
結露がとれるまでの時間	約 113分	約 76分	約 61分

高温時（20℃以上の場合）			
	自然換気の場合	3回換気/hの場合 ハイブリッド・ブLOWER（弱運転）と同等	6回換気/hの場合 ハイブリッド・ブLOWER（強運転）と同等
結露がとれるまでの時間	約 53分	約 13分	約 7分

上記結果より、換気をすればより時間を短縮できる事がわかる。夏季、冬季では気温の差で換気時間が変わってしまう事も考えられるが、今回の結果より天井裏換気扇は季節に関係なく、結露にも効果を得る事ができると判断できた。



天井裏換気気流シミュレーション。

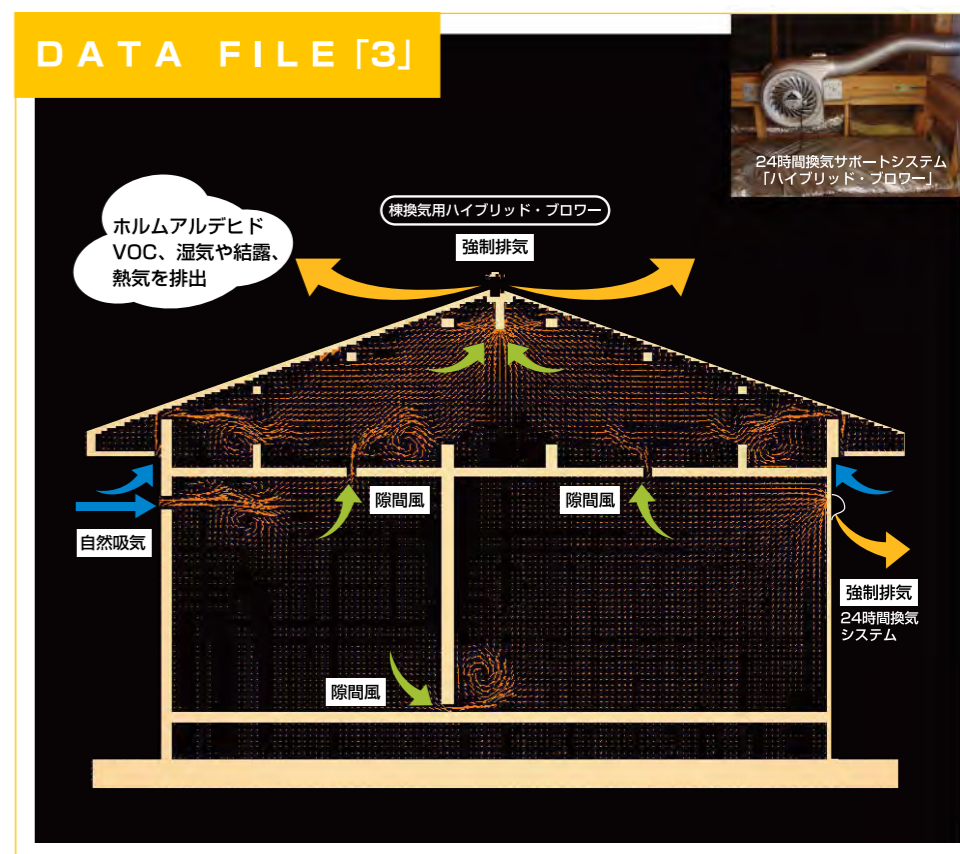
天井裏に換気扇を取り付けると室内の空気がどのように動くか、流体解析ソフトFL DESIGNERを用いてコンピュータで解析してみました。

条件：一般的な住宅の断面図に室内用24時間換気システムを設置し、天井裏には換気用ハイブリッド・ブLOWERを取り付けた状態で解析。

結果：24時間換気システムだけを運転し強制的に室内を換気すると、室内が負圧になり天井裏に停滞していた化学物質が室内へ引き込まれてきます。右の解析のようにハイブリッド・ブLOWERで天井裏を強制排気し、室内より気圧を下げることで化学物質が室内へ流入するのを防ぎます。

天井裏換気扇の湿度制御コントローラー登場予定

ブロー型天井裏換気システムに、温度センサー感知型の「システム・コントローラー」の対応が可能となります。



ライフディフェンス NEWS

防犯モデル認証マンション第1号（全住戸）に 当社「ライフディフェンス」が採用。



●防犯マンションとして第1号に認定された「レヴァンテ東郷駅前」



●本体ユニット

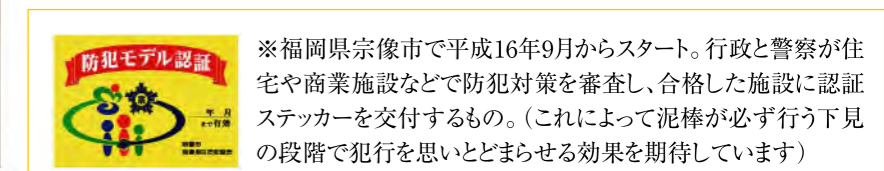


●窓・ドアセンサー

現在、宗像警察署及び宗像市役所の防犯機器展示コーナーにて、当社「ライフディフェンス」が展示されています。

福岡県宗像市では「防犯モデル認証制度」※という、行政と警察から防犯対策の「お墨付き」を受けた賃貸マンション等の建設が進められています。

防犯マンションとして第1号に認定されたのは「レヴァンテ東郷駅前」。
施行：占部建設株式会社（福岡市東区）、場所：宗像市田熊4丁目、
間取：7階建て、単身者向け1LDK 35戸（賃貸）
ライフディフェンスを採用いただいた占部建設（株）常務は「安全・安心は大きな付加価値になる。逆に万が一犯罪が起きれば、マンションの価値は下がる。」とおっしゃっています。



※福岡県宗像市で平成16年9月からスタート。行政と警察が住宅や商業施設などで防犯対策を審査し、合格した施設に認証ステッカーを交付するもの。（これによって泥棒が必ず行う下見の段階で犯行を思いとどまらせる効果を期待しています）

NHK総合テレビ「難問解決!ご近所の底力」で上記内容の取材を行いました。



タカヤマ金属工業株式会社 営業部 西日本ブロック 柏木 淳史 氏

現在、宗像警察署及び宗像市役所の防犯機器展示コーナーにて、当社「ライフディフェンス」が展示されています。

住 宅関連の商材を製造販売していることもあり、一般ユーザー様や工務店様と面談させて頂く事が多くあります。会話の中で日々の問題点等良くお聞きするのが天井裏の熱気・結露、床下の湿気問題でした。想像以上の多くの方々が困っておられました。夏場は天井裏温度が50〜70度以上に上がり、幅射熱などで2階の部屋を暑苦しく、生活しにくい空間としていきます。(天井裏はホルムアルデヒドが発生しやすい空間でもあります)冬場は室内と外気の温度差によって床下・天井裏内部の結露で腐朽菌が発生したり、ひどいときには雨漏りと同じような現象をおこしていることもあります。今まで色々な対応商品がありましたが、評価頂けるものはありませんでした。そんな中、この西邦電機の換気システムに出会いまして。排気量・施工性を含む性能、騒音などの問題全てにおいて予想以上に悩まされていたユーザー様はじめ、施工される工務店様にも喜んで頂けました。床下では換気率アップなどから基礎パッキング工法が多くなっています。当社もキャットスベーパー（基礎パッキン）を製造販売していますが、現状ではブロー+スリムノズルをサポーター商材としてご提案させて頂いています。天井裏の熱気・結露、床下の湿気を抑える為に十分な換気対策を行う事が大切です。家を長持ちさせる為には、これらの予防と対策を早めに行うほど有効であると考えられます。

SEASONS COLUMN

風と住まい
住宅産業に携わる職者のリレーコラム
「住宅問題 熱・湿気対策」

SEASONS COLUMN